

授業科目名	生物学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	高山 清次	GA49	1	2

科目の概要

生物学は、最近、特に世界的な問題となっている地球温暖化などに対して、我々の生活に大きく関係しており、現代社会やこれからの時代を生き抜くためには、学んでおくべき必須の学問である。本科目では、遺伝子、細胞とは何か、生命体とは何か、代謝、増殖や遺伝など生物の基本的概念を概説することはもとより、生物学の応用・発展としてのバイオテクノロジーと人間社会との関わり、与える影響を意識しながら学習する。生物学研究における最近の話題も学んでいく。

科目の到達目標

- ① 遺伝子や細胞の分子レベルから、生命体の反応性や連続性、進化、多様性、生態系といった個体・集団レベルまでの幅広い生物学の基本概念を身につけることができる。
- ② 生物学研究がもたらす社会的影響や生物学に関連する時事問題が理解でき、自分の言葉で説明し、自分自身の考えを述べることができる。

テキスト	『やさしい基礎生物学』南雲 保(編著), 羊土社, 2014年
------	---------------------------------

テキストの読み方

- ① 本書は、細胞の構造や機能、生命体のエネルギーや応答性、生物の多様性や生態系など生物学に関する様々な領域について、平易な文章で表現されているとともに図表や写真も多く示されている。
- ② 項目ごとに読み進めて、各項目の理解を深める。
- ③ 各章末には問題があるので、各自が考えて解答し、理解度の確認をする。
- ④ 生命科学に興味、関心を持ち続けられるように基本を学んでほしい。例として、遺伝子の構造と機能や、生物の誕生と進化の歴史についてなど。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。